



# 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月25日

上場会社名 株式会社 MonotaRO  
 コード番号 3064 URL <http://www.monotaro.com>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 鈴木 雅哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理部長 (氏名) 田中 秀和  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-4869-7190

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	7,739	15.7	954	44.9	956	45.4	658	75.2
24年12月期第1四半期	6,686	—	658	—	657	—	375	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 646百万円 (71.2%) 24年12月期第1四半期 377百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	10.89	10.63
24年12月期第1四半期	6.30	6.13

(注)平成23年12月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成24年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	10,942	6,018	54.5
24年12月期	11,265	5,588	48.7

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 5,969百万円 24年12月期 5,489百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株を2株の割合で株式分割を実施しており、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の平成24年12月期の中間配当金及び期末配当金はそれぞれ4円、年間配当金は8円に相当いたします。

## 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,330	19.4	1,913	34.4	1,912	32.9	1,184	43.0	19.55
通期	35,333	22.9	4,046	38.3	4,046	37.6	2,407	42.5	39.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、1株当たり四半期純利益の予想値は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) NAVIMRO Co.,Ltd. 、除外 1社 (社名)

(注)当第1四半期連結会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の有無となります。  
なお、詳細につきましては、添付資料の3ページを参照してください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	61,152,000 株	24年12月期	60,860,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	524,340 株	24年12月期	524,340 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	60,516,193 株	24年12月期1Q	59,688,327 株

(注)当社は、平成25年4月23日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

#### （当期の経営成績）

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の回復で、輸出や生産が持ち直しているのに加え、いわゆるアベノミクス効果と日銀の金融緩和の影響が継続し、円安・株高が進む展開となり、企業マインドの好転で、長きに亘り抑制傾向にあった製造業の設備投資意欲が回復の兆しを見せ、個人消費や住宅投資など内需が堅調さを増し、全体としては、穏やかな景気持ち直し基調で推移いたしました。

一方、当社グループが主として販売する工場用間接資材業界におきましては、一部業種の国内生産活動の回復等により、ようやく底打ちを感じるところまできており、景気刺激政策による景気好転の期待感が強い状況となっております。

このような経済環境のなか、当社グループは、データマイニングツールを活用した効率的なファクシミリやダイレクトメールによるチラシの発行、インターネットを使った広告など、引き続き積極的なプロモーション活動を展開し、さらに、昨年11月にねじ・ボルト関連の取扱いアイテム数350,000点超という国内最大級の品揃えを実現したことに伴い、本年3月にこれのなかから特に厳選した約15,000点掲載の「ねじ・ボルトカタログVol.1.1」を新規に発行するなど、本年2月には取扱いアイテム数300万点突破を実現させ、あらゆる業種のあらゆる間接資材をワンストップでご購入いただける環境を一層充実させ、顧客の幅広い要望に対応すべく、顧客の利便性向上と間接資材購買の効率化サポートに積極的に取り組んでまいりました。このほか、販売面では、日替わり特価や各種キャンペーンの実施など、顧客の購買意欲の高揚策も積極的に行ってまいりました。これらの施策を実施したことにより、当第1四半期連結累計期間中に54,269口座の新規顧客を獲得することができ、当第1四半期連結会計期間末現在の登録会員数は、946,431口座となりました。

なお、連結子会社でありました株式会社K-engineは、当社が保有する全株式を本年1月に譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。また、本年1月に韓国において、当社全額出資で子会社を設立し、連結子会社としておりますが、事業開始は第2四半期連結会計期間以降の予定であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は7,739百万円（前年同期比15.7%増）となりました。一方、利益面では、出荷量の増加に伴う物流部門を中心とした人員増加による人件費の増加や新規顧客獲得促進等によるプロモーション費用の増加はあったものの、売上総利益の増加で十分吸収できたため、営業利益は954百万円（前年同期比44.9%増）、経常利益は956百万円（前年同期比45.4%増）、四半期純利益は子会社株式売却による特別利益の計上もあり、658百万円（前年同期比75.2%増）と増益を達成することができました。

事業の品目別の業績概況は、次のとおりであります。

#### ①工場消耗品

作業工具、清掃用品及びマスク等の売上が堅調に推移した結果、売上高は3,175百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

#### ②工場交換部品

物流・保管用品、電気材料及び配管設備等の売上が好調に推移したほか、自動車アフターマーケット向け自動車整備・トラック用品の売上が大きく寄与し、売上高は3,107百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

#### ③その他

科学研究・実験器具、事務用品及び工事用品関連商品等の売上が堅調に推移し、売上高は1,456百万円（前年同期比18.3%増）となりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して323百万円減少し、10,942百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末と比較して389百万円減少した結果、9,720百万円となりました。流動資産が減少した主な要因は、売掛金が161百万円増加しましたが、現金及び預金が409百万円、たな卸資産が144百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は66百万円増加して1,222百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して753百万円減少し、4,923百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末と比較して804百万円減少した結果、4,775百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、未払法人税の減少383百万円及び未払金の減少470百万円などによるものであります。固定負債は51百万円増加して148万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して429百万円増加し、6,018百万円となりました。これは主として四半期純利益658百万円及び配当金の支払241百万円などによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末と比較して5.8ポイント増加し、54.5%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、円高・株安・デフレの影響等による低迷期から徐々に回復しつつあるものの、米国の雇用統計の雇用者数が市場予想を大幅に下回るなど、景気回復の減速懸念が広がる中、世界経済の下振れ懸念や不安定な為替相場など、先行きに不安を抱えた不透明な経済環境であるといえます。

このような経済環境のなか、当社グループは、積極的なプロモーション活動と利便性向上策の実施など、顧客の離脱防止と新規顧客の獲得により、当社の第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画を若干上回る状況で推移しておりますが、今後の見通しは決して楽観できるものではありません。従いまして、現時点において、平成25年1月29日に公表いたしました平成25年12月期の連結業績予想（第2四半期連結累計期間及び通期）に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、新規設立したNAVIMRO Co., Ltd. を連結の範囲に含めております。なお、当第1四半期連結会計期間に株式会社K-engineの全株式を譲渡し連結の範囲から除外しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,925,592	2,516,517
売掛金	2,868,409	3,030,386
商品	2,892,239	2,845,005
未着商品	142,835	89,031
貯蔵品	112,872	69,365
未収入金	1,021,414	1,014,325
その他	173,667	178,582
貸倒引当金	△27,352	△23,126
流動資産合計	10,109,678	9,720,088
固定資産		
有形固定資産	171,324	186,961
無形固定資産	762,953	773,399
投資その他の資産		
差入保証金	136,168	140,725
その他	101,908	138,452
貸倒引当金	△16,298	△17,016
投資その他の資産合計	221,778	262,161
固定資産合計	1,156,055	1,222,522
資産合計	11,265,734	10,942,611
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,178,842	2,207,400
短期借入金	1,300,000	1,300,000
未払金	966,409	495,885
未払法人税等	844,575	460,885
賞与引当金	34,740	87,845
役員賞与引当金	24,663	10,750
その他	230,807	212,540
流動負債合計	5,580,039	4,775,308
固定負債		
役員退職慰労引当金	87,268	140,020
その他	9,598	8,469
固定負債合計	96,866	148,490
負債合計	5,676,906	4,923,798

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,771,616	1,802,556
資本剰余金	576,154	607,094
利益剰余金	3,267,044	3,684,572
自己株式	△125,197	△125,197
株主資本合計	5,489,617	5,969,026
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△12,351
その他の包括利益累計額合計	—	△12,351
新株予約権	68,077	62,138
少数株主持分	31,132	—
純資産合計	5,588,827	6,018,812
負債純資産合計	11,265,734	10,942,611

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	6,686,859	7,739,945
売上原価	4,819,792	5,354,130
売上総利益	1,867,067	2,385,814
販売費及び一般管理費	1,208,229	1,431,360
営業利益	658,837	954,454
営業外収益		
受取利息	18	162
為替差益	—	2,548
その他	4,558	5,174
営業外収益合計	4,577	7,885
営業外費用		
支払利息	3,163	3,034
為替差損	1,457	—
子会社設立費用	—	1,751
その他	1,137	1,129
営業外費用合計	5,757	5,915
経常利益	657,657	956,424
特別利益		
子会社株式売却益	—	138,404
特別利益合計	—	138,404
特別損失		
固定資産除却損	22	6,419
特別損失合計	22	6,419
税金等調整前四半期純利益	657,634	1,088,408
法人税、住民税及び事業税	284,879	457,002
法人税等調整額	△4,932	△27,465
法人税等合計	279,946	429,537
少数株主損益調整前四半期純利益	377,688	658,870
少数株主利益	1,689	—
四半期純利益	375,998	658,870
少数株主利益	1,689	—
少数株主損益調整前四半期純利益	377,688	658,870
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△12,351
その他の包括利益合計	—	△12,351
四半期包括利益	377,688	646,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,998	646,518
少数株主に係る四半期包括利益	1,689	—

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

当社グループは、工場用間接資材販売業の単一セグメントであり、地域別においても国内事業以外の事業について重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。